

あと一歩前進する力に

特別支援教育コーディネーター

先日、特別支援教育についての研修会に参加し、「肯定的な表現をする」ことについて考えました。教員として勤務する中で、「肯定的な表現をする」ことは、「走るのはダメだよ。」→「歩きましょう。」のように日頃から心がけていることでした。けれど、この研修会では、すべての言葉を肯定的に言い変える大切さを学びました。「飽きっぽい」→「いろいろなことに興味がある」「だらしない」→「小さなことは気にしない」「気が弱い」→「優しい」「口が悪い」→「素直だ」など、日常的に使われがちな否定的な言葉を肯定的に言い換えることで、相手への伝わり方が変わるのだと思いました。

子供たちを見ていると、「もう少しで課題が終わるのに、やる気になれない。」「ほんの少しでも間違えると自信がもてずに辞めてしまう。」そんな場面を見かけることがあります。そんな時こそ私たち大人が肯定的な表現で子供たちを励まし、あと一歩前に進む力になるようにしたいと思います。今後も子供たちがあきらめずに粘り強く取り組むことができるように指導・支援していきます。

民謡教室

8月31日に2回目の民謡教室を行いました。地域の民謡保存会の方々を講師に招き、学年ごとに学習発表会に披露する演目の練習を行っています。子供たちは懸命に講師の先生方の指導を自分たちの表現につなげようと頑張っています。地域の伝統である民謡の素晴らしさを感じ、地域の一員として民謡を守り伝えていく子供たちを目指しています。



クラブ活動

今年度のクラブ活動は、子供たちの意見や希望を反映し、前期と後期の2回に分けて計6つのクラブを開設しました。

運動・ニュースポーツクラブでは、6年生が下学年の気持ちを汲みながらルールを工夫するなど、全員が楽しめるように活動しています。子供たちの創意を生かした活動を通して、自主性や実践的な態度を育てていきます。



避難訓練（地震）

9月1日（金）防災の日に地震の避難訓練を行いました。前日のシェイクアウト訓練で「姿勢を低く」「頭を守る」「動かない」ポイントを訓練しました。当日、子供たちは低い姿勢で揺れが収まるまで机の下で待ち、頭を身近な物で守りながら避難場所に避難することができました。

